

給食だより No.8

令和6年12月20日
 川崎市立西菅小学校



日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA（アジア救済公認団体）」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

児童の給食への関心を高め、理解を深めるために、川崎市の給食では毎年、給食週間の行事食を実施しています。



学校給食の移り変わりを見てみよう！

明治22年	戦後(昭和20~30年代)	現在
<p>私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。</p>	<p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。</p>	<p>旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、地産地消など、食育の教材となる給食。</p>

◆1月の献立の紹介◆

寒さが厳しい時期なので、温かい献立や季節の食品をできるだけ多く取り入れました。

1月の給食目標は、「給食について考えよう」です。「給食の歴史を知り、感謝の気持ちをもって食事ができる」ことをねらいとし、献立を作成しています。

◇◇給食で使用する季節の食品◇◇

キャベツ ごぼう セロリ 小松菜 大根 長ねぎ 白菜 ほうれん草 のり

◇◇かながわ産品学校給食デー(1月20日)◇◇

ごはん 赤しそごま 牛乳 肉じゃが みそ汁

かながわ県内産の米・牛乳・大根・小松菜を使用する予定です。

◇◇「給食週間」の行事食(1月24日)◇◇

ごはん 焼きのり 牛乳 さけの塩焼き 煮びたし みそ汁

た べすぎにきを つけよう	の みものはあまくないものをえらぼう	し っかりてをあらってしょくじをしよう	い ちにち3しょく、きそくたたく たべよう
ふ ゆがしゆんの たべものをたべよう	ゆ っくりよくかんで たべよう	や さいをたっぷり たべよう	す すんで、おてつだい をしよう
み みんなでしょくたくをかこむ きかいを	を (お)やつは じかんを きめてとろう	たの 心ゆす 楽しい冬休みを お過ごしください。	